

## 【賛成討論】

市議案第97号令和3年度豊中市一般会計補正予算第13号のうち、感染予防費の新型コロナウイルスワクチン接種事業について賛成討論をします。まず、今後の市の集団接種会場については、前回の接種状況などを踏まえて効率的な設置箇所、会場数の検討をされているとのことですので、ぜひ、少しでも交通アクセスや利便性の良い場所での実施、更には、効率性や市民ニーズを意識した場所や方法での接種を検討するよう要望しておきます。また、18歳以上の方への3回目接種及び5歳以上の方への接種対象年齢の拡大が開始されると、保管場所、接種会場、配送先において、取り扱うワクチンの種類が増えると思いますので、可能な限りの対策を講じて、絶対にワクチンの取り扱いや混在を防いで頂くように強く要望しておきます。

また、新たに接種対象者となる低年齢層へのワクチン接種に関して、「子どもたちの間においてもクラスターが発生し、各家庭で同居している家族が二次感染しているケースも認められた」とのご答弁もありましたが、子どもたち間でのクラスターよりも、大人間でのクラスターの方が発生数が多いこと、子どもから大人への感染よりも、大人から子どもの感染の方が多く、他の年齢層よりも接種率が低い12歳から15歳において、更には、接種対象となっていない12歳未満の子どもたちの新型コロナウイルスの発症率は、他の年齢層と比較して特段高くないこと、また、新たに接種対象年齢となる5歳から11歳の新型コロナウイルスの重症化数も死亡数も0件であることも、市民の方々にしっかりと明示して頂きたいと思います。

その上で、ワクチン接種を受けることのメリットとデメリットを養育者にきっちりと理解していただく必要があると思います。ワクチンを打ちたい、打たせたいと思う子どもたちや、その養育者の意思は尊重されるべきですし、円滑に接種が出来るように体制を整えて頂くことは必要だと思います。同時に、今回、細かな質問をいくつもさせて頂きましたが、5歳以上の子どもへのワクチン接種の効果実績、副反応の程度や傾向、生じる割合、更には、先週末に WHO が発表した新たな変異種であるオミクロン株に関して、5歳以上の子どもたちの感染リスク、重症化リスクについての実績値とワクチンの効果についてなど、市民や養育者の方々にとって、接種をするかしないかの判断材料となる情報を可能な限り、収集し、幅広く、分かりやすく提供して頂くことを強く求めておきます。